

(2022年 千葉県公立入試 類似)

- (2024年 岡山県公立入試 類似)

- (2023年 山形県公立入試 類似)

- (2026年 茨城県公立入試 類似)

- (2022年 岡山県公立入試 類似)

- (2023年 和歌山県公立入試 類似)

- なさい。(2021年 福岡県公立入試 類似)

- (2022年 福岡県公立入試 類似)

- (2021年 大阪府公立入試 類似)

- (2022年 長野県公立入試 類似)

- (2021年 香川県公立入試 類似)

- (2020年 奈良県公立入試 類似)

1. 成田国際空港と比較して国際線の発着枠が多いため、旅客全体では国際線の利用者が国内線の利用者を上回っている。
2. 国際線の利用者が増加傾向にあるものの、旅客全体に占める割合は国内線の利用者が圧倒的に多い。
3. 都心に近い利便性から、国内線と国際線の利用者がほぼ同数となるよう計画的に運用されている。
4. 地方空港とのネットワークを縮小しているため、旅客構成においては国内線よりも国際線の利用者が多くなっている。